

# ダイズモザイク病に強く、良質な東北地域北部向け大豆新品種「シュウリュウ」

現在、大豆加工品の1世帯当たり購入金額が全国で最も多いのは東北地域です。その中で一番購入されている豆腐に限ってみると、都道府県庁所在市別には盛岡市が数量、金額ともにトップです。食生活の中で大豆と馴染みが深い岩手県では、「ナンブシロメ」や「スズカリ」が主力品種として作付されてきました。しかし、「ナンブシロメ」は収量が低く、年次変動も大きく不安定であることから、収量の多い品種への切り替えが望まれています。また、「スズカリ」は豆腐などの加工適性が劣ることから、実需者から利用しやすい特性を持つ品種の育成が求められています。

そこで、農研機構東北農業研究センターでは、極大粒の「東北143号」と蛋白質含有率が高くダイズモザイク病に強い「刈系675号」を交配して、収量が安定して高く、しかもダイズモザイク病に強い、白目の大粒で豆腐などの加工に適する大豆新品種「シュウリュウ」を育成しました。

## 《「シュウリュウ」の特徴》

「シュウリュウ」は、「ナンブシロメ」や「スズカリ」と比べて、ダイズモザイク病や紫斑病に対して強い抵抗性を示します(表1)。また、倒れにく

表1/「シュウリュウ」の病虫害抵抗性

品種名	病虫害抵抗性		
	ダイズモザイク病	紫斑病	ダイズシストセンチュウ
シュウリュウ	強	やや強	弱
ナンブシロメ	中	中	強
スズカリ	中	中	強

(検定場所: 育成地および特性検定場所)

表2/「シュウリュウ」の主な生育・品質特性

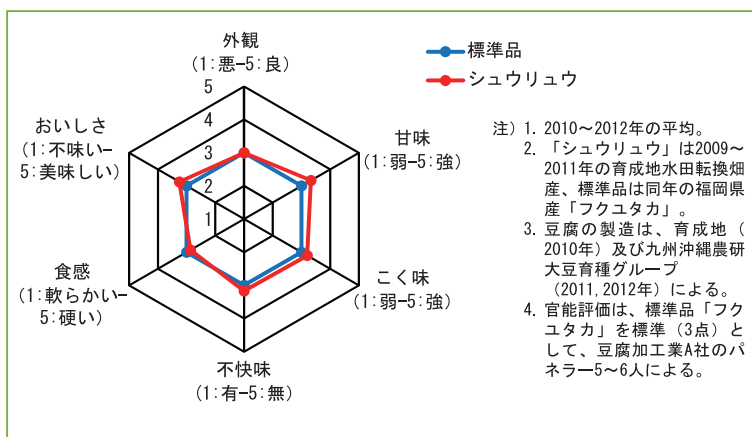
品種名	成熟期	子実重 (kg/10a) (対スズカリ比)	倒伏程度 (評価値)	最下着莢 節位高 (実測値cm)	百粒重 (g)	子実中 蛋白質 含量(%)
シュウリュウ	10月6日	321 (103)	無 (0.0)	中 (11)	32.9	40.9
ナンブシロメ	10月8日	260 (84)	無 (0.3)	中 (9)	23.1	41.1
スズカリ	10月3日	311 (100)	無 (0.0)	中 (8)	27.3	39.0

(栽培場所および年次: 岩手農研、2010~2012年)

水田作研究領域

菊池 彰夫

KIKUCHI, Akio



く莢の高さも適正範囲にあるため、収穫作業によるロスも少なくコンバイン収穫に適しています(表2)。さらに、子実が白目で「ナンブシロメ」や「スズカリ」より大きく、しかも、蛋白質含有率が「スズカリ」より高く「ナンブシロメ」並で、豆腐などの加工にも適しています(表2、図)。

## 《「シュウリュウ」の栽培上の留意点》

「シュウリュウ」は、成熟期が中生の早で、栽培適地は主に東北地域北部です。ダイズシストセンチュウには弱いので、センチュウ被害の発生した圃場での栽培は避けてください。また、茎葉処理型除草剤(ベンタゾン)に対する感受性が高いので、散布時期の気象条件を考慮するなど薬害の発生に注意する必要があります。

## 《「シュウリュウ」の今後への期待》

「シュウリュウ」は、岩手県において主力品種の「ナンブシロメ」の一部と「スズカリ」のすべてを置き換える奨励品種として採用される予定であり、今後、この地域の大豆の安定生産に貢献することが期待されています。

なお、「シュウリュウ」は、倒伏に強く、品質が秀でた大豆を秋に無事収穫できることを願って名付けられました。